

これからの大磯町

～第四次総合計画後期基本計画を策定～

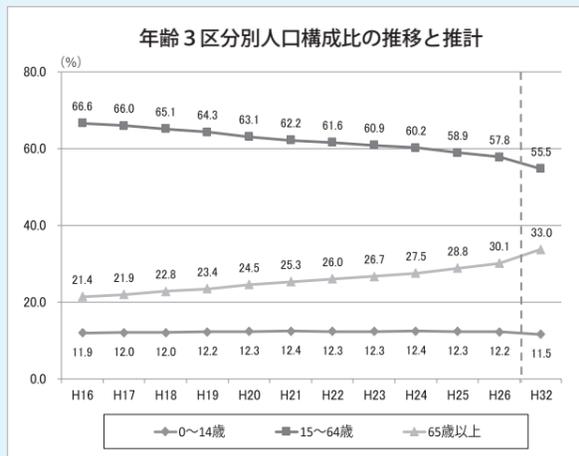


◇大磯町の現状

人口は2011年（平成23年）以降、ゆるやかに減少が続いています。年齢別人口では年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）が減少し、高齢者人口（65歳以上）が増えています。2014年（平成26年）では3人に一人が高齢者となっています。

◇町をとりまく社会経済情勢も変化しています。

- ・人口減少社会が到来しています。
- ・地域産業や経済の状況が変化しています。
- ・税金の落込みなど財政状況が深刻化しています。
- ・安全、安心への意識が高まっています。



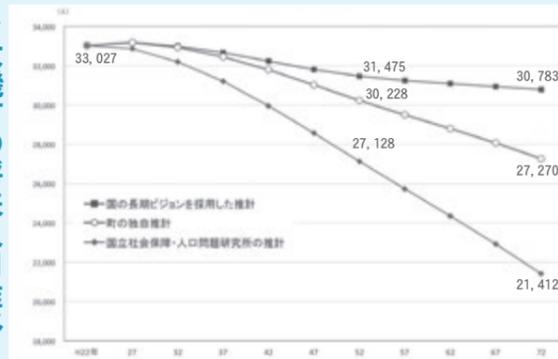
資料：神奈川県年齢別人口統計調査（推移値）、政策課（推計値）

◇大磯町人口の見通し

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、町の人口は、転入促進や転出抑制の策を講じない限り、2060年（平成72年）には約21,000人まで人口が減少することが見込まれます。人口減少や少子高齢化による人口の年齢構成の変化に伴う地域活力の減退などを回避するため、今後減り続ける人口に歯止めをかける必要があります。

総合計画後期基本計画とともに策定した「人口ビジョン・総合戦略」において、2060年（平成72年）に27,000人の人口を維持する目標を設定しました。そして、その目標を達成するため、総合計画後期基本計画では、4つの重点プロジェクト「花鳥風輪」を掲げ、合計特殊出生率の向上、ファミリー層を中心とした転入促進、また転出の抑制に向けた、様々な取組みを展開していきます。

大磯町の将来人口推移



推計値 (平成72年) **21,000人**

目標値 (平成72年) **27,000人**



後期基本計画 / 人口ビジョン・総合戦略
※冊子は本庁舎、国府支所、図書館、町ホームページで閲覧できます。



◇後期基本計画 4つの重点プロジェクト

「花鳥風輪」とは、「自然の美しさや日本らしい風流さ」といったイメージを持つ「花鳥風月」をなぞらえて作った造語です。「花」は輝き、「鳥」は羽ばたき、「風」は流れ、「輪」はつながりの意味を持たせ、プロジェクトとして表現しています。後期基本計画では、「交流人口の増加」と「定住人口の安定化」の実現をめざして、4つの重点プロジェクトを連動させて展開していきます。

か花

輝き ～観光による魅力づくり
【事業1】 地域資源を生かした観光の振興
【事業2】 大磯港みなとオアシス事業による交流の促進
【事業3】 自転車ネットワークの整備

ちょう鳥

羽ばたき ～笑顔の子育てまちづくり
【事業1】 妊娠・出産・子育てに関する総合支援の推進
【事業2】 ワークライフバランスを支援する保育サービスの充実
【事業3】 放課後の子ども健全育成への支援
【事業4】 時代の変化に対応した教育環境の整備

ふう風

流れ ～交流によるしごとづくり
【事業1】 地域産業ビジネスに対する創業支援の充実
【事業2】 地域雇用の場の整備と担い手の育成
【事業3】 持続可能な社会に向けた事業の推進



りん輪

つながり ～多世代による地域づくり
【事業1】 多世代による新たなコミュニティの創生
【事業2】 健康な暮らしのサポートの充実
【事業3】 地域防災体制の強化
【事業4】 生活環境の改善整備



－中崎町長からのメッセージ－

大磯町は、平成18年に15年間を計画期間とする第四次総合計画を取りまとめ、前期基本計画、中期基本計画と、青い海、緑の丘陵、そして豊かな自然、先人から受け継いだ伝統・文化を大切に守りながら、地域で暮らす皆さんとともに、着実に取組みを進めてまいりました。平成27年度をもって中期基本計画の計画期間である5年間が終了することから、第四次総合計画の集大成として、後期基本計画を策定しました。

この平成28年度から32年度の5年間を計画期間とする後期基本計画では、少子高齢化・人口減少社会を乗り越えるため、重点プロジェクト「花・鳥・風・輪」を計画の柱に据え、「交流人口の増加」と「定住人口の安定化」を目標に、未来に向けて安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。